1 新分野を開拓 *部品屋″の挑戦

これまでの織物の技術を生かした 新しい製品の開発に取り組んでいく

社 名 栗田煙草苗育布製造株式会社 所在地 栃木県佐野市堀米町1636 電 話 0283-22-3101

H P www.kuritatabaco.jp 代表者 代表取締役社長 栗田昌幸 従業員 63人 (パート含む)

使われるものだったが、同社では それらを製造業や建築業で使われ 様な製品を開発・生産している。 自社が持つ技術を生かして多種多 寒冷紗はもともとは主に農業用に る寒冷紗の一貫生産を行っている。 巻冷紗の特性を生かした くことで、日本のものづくりに

新たな製品開発へ

活と密接に関わり合っている。 きんにも使われている。 築物の床材の裏地などにも使われ、 使われている。工業用としては建 除けや防虫、防寒、 から、農作物の芽や苗を覆って日 に空気を通して光をさえぎること の目を粗く織り込んだ布で、 前のこの製品は、 のこの製品は、実は私たちの生「寒冷紗」という耳慣れない名 用品としては台所用の市販のふ 霜除けなどに 適度

につくったのが始まりです。 ともとはタバコの苗を育てるため はこう語る。「弊社の寒冷紗は、も 苗育布製造の社長、 自社の製品について、 栗田昌幸さん 栗田煙草

栃木県佐野市にある栗田煙草苗 〝部品〟として提供して 織物製品の一種であ

業用に使われてきました。その後、にも使われるようになり、主に農 コをつくっているんですかとよく聞 はほとんどないそうだが、 にシフトしていきました」 珍しさもあるからだという。「タバ 同じ技術を使った産業資材の製品 農業用の需要が減ったことから、 煙草」を残したのは、その名前の 今はタバコの苗に使われること

あります」(栗田さん)

げで、話がつながっていくことも

製品の付加価値を高める

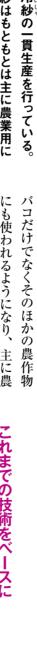
同社が産業資材に切り替えて



▲創業は明治40(1907)年で、初代がタバコ苗育布の開発・販売を開始したことから始まった

これまでの技術をベースに

営的に厳しくなってきた。当時の 製品が普及してきたことから、経 資材としては寒冷紗に代わる安い いったのは1990年ごろ。農業 を生かした新たな製品開発に進ん 社長で現会長である栗田重雄さん 寒冷紗の特性



世界から信頼される日本のものづくりを支えてきた製造業。そのさまざまな部品をつくってきた企業=部品屋

が、市場の変化を的確に読み、自社の培ってきた独自の技術を基に新たな分野へ挑戦し、業績を上げている

日本各地の

*部品、製造業者の取り組みを追った。

時代が求めるものづくりへ情熱を燃やす、

てるための布という意味です。

は揺るがな